

医工連携 製品開発探る

産学官
フォーラム 講演通じ事例紹介 弘前

ひろさき産学官連携フォーラムの2016年度第1回医工連携研究会が24日、弘前大学のコラボ弘大で開かれ、今年度事業計画の承認や、事例紹介などが行われた。

研究会は今年度、弘前大学院理工学研究科との連携による医工連携セミナーの開催や医

療系展示会「メディカルクリエーションふくしま2016」への出展のほか、「弘前大学COI2017ヘルシーエイジング・イノベーションソンサミット」も共催する。

事例紹介では、「医工連携におけるモノづくりの現状と課題」と題し、青森市のトム・メディック代表取締役

の館山光浩さんが講演。医療現場の声を聞いて開発した、医療機器の電源ラインの乱雑さの解消と移動時の安定を高めた輸液用スタンドや、ベッド周辺の電源コードなどを束ねて整理でき、踏みつけ

や感染源の予防と医療機器の転倒などに役立つ医療用結束バンドなどの製品やその納入実

講演するトム・メディック代表取締役の館山さん



績などを紹介しつつ、「世の中になくない製品の開発も大事だが、受け入れられやすい既存製品も大事」品のリメイクも大事などと説明。参加したメーカー担当者らが聞き入った。(西尾瑛)